

仕 様 書

1

件 名	仙台駐屯地吸収式冷凍機 保守点検役務	仕様書番号	作 成 年 月 日
		A-58	令和8年4月1日
履 行 期 限	令和9年3月31日	部隊等名	仙台駐屯地業務隊管理科営繕班

1 適用範囲

本仕様書は、陸上自衛隊仙台駐屯地において実施する仙台駐屯地吸収式冷凍機保守点検役務について適用する。

2 実施場所

仙台市宮城野区南目館1-1 陸上自衛隊仙台駐屯地

3 一般事項

本役務は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書（令和5年度版）」及び本仕様書によるほか、メーカー仕様に基づき実施すること。なお、本仕様書に記載なき事項及び官側の指示がなくとも、技術上当然なすべき事項は積極的に実施すること。また、作業にあたり、建物・物品等に破損及び汚損を生じた場合には、速やかに官側担当者へ報告し、その指示に従い請負者の負担において現状に復旧するものとする。

4 点検設備概要

(1) 吸収式冷凍機等

建物名	設備	メーカー	型式	数量	冷房能力 (Kw)	備考
隊舎 (No.18)	吸収式冷凍機 冷却塔	矢崎エンジニアリング(株)	CH-KG40ST	1	141	空調用ポンプ 3台
		空研工業(株)	SKB-50S	1	225	
庁舎 (No.201)	吸収式冷凍機 冷却塔	矢崎総業(株)	CH-V50ST	1	134	空調用ポンプ 3台
		東芝(株)	RTC-406UW	1	249	
WAC隊舎 (No.235)	吸収式冷凍機 冷却塔	矢崎エンジニアリング(株)	CH-KG30ST	1	106	空調用ポンプ 3台
		荏原冷熱システム(株)	SBW-20ESS	1	193	
庁舎 (No.248)	吸収式冷凍機 冷却塔	川重冷熱工業	ΣTBS-150DN5C	1	390	空調用ポンプ 3台
		空研工業(株)	SKB-114GR	1	730	ユニット型空調和機 7台
庁舎 (No.253)	吸収式冷凍機 冷却塔	矢崎総業(株)	CH-KG60ST	1	176	空調用ポンプ 3台
		空研工業(株)	SKB-50GR	1	326	ユニット型空調和機 3台
隊舎 (No.348)	吸収式冷凍機 冷却塔	ダイキン(株)	ADSN21B	1	560	空調用ポンプ 5台
		空研工業(株)	SKB-160PGRS	1	1,032	
教育施設 (No.349)	吸収式冷凍機 冷却塔	矢崎エンジニアリング(株)	CH-KG70STU43	1	246	空調用ポンプ 3台
		日立冷熱(株)	KW-70S3K	1	396	ユニット型空調和機 5台
食堂・厨房 (No.373)	吸収式冷凍機 冷却塔	荏原	RCW021	1	553	空調用ポンプ 3台
		空研工業(株)	SKB-165GR	1	1,030	ユニット型空調和機 7台 送風機 6台
庁隊舎 (No.374)	吸収式冷凍機 冷却塔	矢崎総業(株)	CH-KG30ST	1	62	空調用ポンプ 3台
		三菱樹脂(株)	HT-38MQAK-Ri	1	198	
庁舎 (No.377)	吸収式冷凍機 冷却塔	川重冷熱工業	ΣTBS-150DN5C	1	434	空調用ポンプ 6台
		空研工業(株)	SKB-125GR	1	810	ユニット型空調和機 3台 送風機 2台
庁舎 (No.395)	吸収式冷凍機 冷却塔	日立(株)	HAU-WL60EX	1	140	空調用ポンプ 3台
		空研工業(株)	SKB-40GR	1	260	ユニット型空調和機 3台

(2) ユニット型空気調和機等

建物名	設備	メーカー	型式	数量	冷房能力 (Kw)	備考
庁舎 (No.248)	ユニット型空気調和機	—	—	—	—	ユニット型空気調和機 7 台 送風機 7 台
庁舎 (No.253)	ユニット型空気調和機	—	—	—	—	ユニット型空気調和機 3 台 送風機 3 台
庁舎 (No.266)	ユニット型空気調和機	—	—	—	—	ユニット型空気調和機 3 台 送風機 3 台
庁舎 (No.266)	ユニット型空気調和機	—	—	—	—	ユニット型空気調和機 3 台 送風機 3 台
プール (No.343)	ユニット型空気調和機	—	—	—	—	ユニット型空気調和機 1 台 送風機 1 台
教育施設 (No.349)	ユニット型空気調和機	—	—	—	—	ユニット型空気調和機 5 台 送風機 5 台
食堂厨房 (No.373)	ユニット型空気調和機	—	—	—	—	ユニット型空気調和機 7 台 送風機 7 台
庁舎 (No.377)	ユニット型空気調和機	—	—	—	—	ユニット型空気調和機 3 台 送風機 3 台
庁舎 (No.395)	ユニット型空気調和機	—	—	—	—	ユニット型空気調和機 3 台 送風機 3 台

5 点検範囲

(1) 点検項目及び回数

ア 吸収式冷凍機（冷房 I N, 冷房 O N, 冷房 O F F 点検時実施）

点検項目	点検内容	周期
1. 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③ 取付状態を点検する。	IN, OFF IN, OFF ON
2. 外観状況		
a. 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN, ON, OFF
b. 保温材及び保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	IN, OFF
3. 付属品		
a. 温度計及び圧力計	① 正常値を指示していることを確認する。 ② 取付部等の漏れの有無を点検する。 ③ 汚れ及び損傷の有無を点検する。	IN, ON, OFF IN, ON, OFF IN, ON, OFF
4. 気密確認	機内圧力が規定値以内であることを確認する。	IN
5. 電気系統		
a. 操作回路及び電動機回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN, OFF
b. 端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。	IN, OFF
c. タイマー	起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。	IN
d. サーマルリレー	キャンドポンプ及び抽気ポンプ用サーマルリレーの設定値を確認する。	IN
e. 電極棒	① 電極棒の機能を点検する。 ② 必要に応じて電極棒を抜き取り、亀裂又は折損の有無を点検する。	IN, ON OFF
f. 操作盤内	異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	IN
g. 接地	① 断線及び緩みの有無を点検する。 ② 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN IN
6. 保安装置		
a. 作動試験	リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認する。	IN
b. インターロック	作動の良否を点検する。	IN
7. 蒸気圧力調整弁	① リンク装置の緩みの有無を点検する。 ② 実作動及び疑似回路により作動させ、その良否を点検する。 377号食堂厨房を除く	IN, ON IN, ON

点検項目	点検内容	周期
8. 冷水及び冷却水系統	① 漏れの有無を点検する。 ② 弁の開閉の良否を確認する。 ③ 冷水及び冷却水系統の各水室部に水漏れのないことを確認する。	IN IN IN
9. 運転調整		
a. 音及び振動	異常のないことを確認する。	IN, ON
b. 電流及び電圧	① 運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。	IN, ON
	② 運転電流が規定値内にあることを確認する。	IN, ON
c. 電動機	③ 電動機の回転方向が正しいことを確認する。	IN
d. 自動制御	蒸気調整弁が設定温度で段階的に作動することを確認する。	IN, ON
e. 熱源	① 供給蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内にあることを確認する。	IN, ON
	② 非通電時に、蒸気制御弁にリークのないことを確認する。	IN, ON
f. 熱交換器	① 冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	IN, ON
	② 不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。	IN, ON
10. 真空気密		
a. 抽気ポンプ	① 起動時に固着及び異音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。	IN, ON, OFF
	② ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。	IN, ON, OFF
b. 抽気系統	抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。	IN, ON, OFF
c. パラジウムセルユニット	パラジウムセル部の焼損及び劣化度を点検する。	IN, ON, OFF
d. リーク試験	抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。	IN, ON, OFF
e. 真空引き	抽気ポンプを用いて機内を所定の圧力まで抽気する。	IN
11. 冷媒及び吸収剤	① 攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあることを確認する。	IN, ON
	② 溶液に汚れのないことを確認する。	IN, ON
12. 熱交換器	① 伝熱管のスケール付着の有無を点検する。	OFF
	② 伝熱管の腐食の有無を点検する。	OFF
	③ 水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。	IN

点検項目	点検内容	周期
1 3. 機器用水質	水質管理による。	ON
1 4. 保存		
a. 真空系統	機内真空部を真空保存する。	OFF
b. 冷却水系統	満水又は乾燥のうえ保存する。満水保存の場合は、さび止め剤を請負者が準備し規定の濃度まで注入する。	OFF
c. 冷温水系統	満水保存の場合は、防錆剤投入作業を行う。 防錆剤は請負者が準備し規定の濃度まで注入する。	IN
d. 溶液稀釈	冷媒液は全て溶液に混入させ、稀釈されていることを確認する。	OFF

イ 冷却塔（冷房 I N, 冷房 O N, 冷房 O F F 点検時実施）

点検項目	点検内容	周期
1. 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。 ② 基礎ボルトの緩み及び劣化の有無を点検する。 ③ 防振装置の損傷等の有無を点検する。 ④ 防振ストッパーの緩み及び劣化の有無を点検する。 ⑤ 取付状態を点検する。	IN IN IN IN ON
2. 外観状況		
a. 本体	損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	IN, ON, OFF
b. 散水装置	① 損傷、変形、さび及び汚れの有無を点検する。 ② 散水穴の目詰まりの有無を点検する。 ③ 散水管の回転が円滑であることを確認する。	IN, ON, OFF IN, ON, OFF IN, ON, OFF
c. エリミネーター	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	IN, OFF
d. ルーバ	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	IN, ON, OFF
e. 充填剤	① スケール等の付着の有無を点検する。 ② 目詰まりの有無を点検する。 ③ 座屈、変形等の有無を点検する。	IN, ON, OFF IN, ON, OFF IN, ON, OFF
f. 架台	① 損傷、変形等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び組み立てボルトの緩みの有無を点検する。	IN, ON, OFF IN, ON, OFF
g. 梯子・点検扉	損傷、変形、腐食等の有無を点検する。	IN, OFF
3. 水槽		
a. 本体	① 内外面の損傷、変形及び汚れの有無を点検する。 ② 水漏れの有無を点検する。 ③ 水位が規定の位置にあることを確認する。	IN, ON, OFF IN, ON, OFF IN, ON
b. 給水装置	ボールタップ等が確実に作動することを確認する。	IN, ON, OFF
c. ストレーナー	目詰まり、損傷等の有無を点検する。	IN, ON, OFF
d. フレキシブルジョイント	接続部の緩み、腐食等の有無を点検する。	IN, OFF

点検項目	点検内容	周期
4. 送風機		
a. 羽根車	① 損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。	IN, ON, OFF
	② 回転に支障のないことを確認する。	IN, ON, OFF
b. ファンケーシング	損傷、腐食等の有無を点検する。	IN, ON, OFF
c. 軸受	① 軸が円滑に回転することを確認する。	IN, ON, OFF
	② 油量の適否を点検する。	IN, ON
d. 電動機	① 損傷、腐食等の有無を点検する。	IN
	② 円滑に回転することを確認する。	IN, OFF
	③ 絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。	IN
	④ 異常音、異常振動等の有無を点検する。	ON
e. ベルト	① 張り具合の適否を確認する。	IN, ON, OFF
	② 損傷及び磨耗の有無を点検する。	IN, ON, OFF
f. プーリー	損傷、磨耗等の劣化の有無を点検する。	IN, ON, OFF
5. 凍結防止装置	① サーモスタットが設定値で作動することを確認する。	IN
	② ヒーターの作動電流が定格電流以下にあることを確認する。	IN, ON
	③ ヒーターの絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。	IN
6. 運転調整	① 電動機の回転方向が正しいことを確認する。	IN
	② 音及び振動に異常のないことを確認する。	IN
	③ 電源電圧の変動が規定値内にあることを確認する。	IN, ON
	④ 運転電流が定格値以下にあることを確認する。	IN, ON
	⑤ 散水管の回転数が許容範囲内にあることを確認する。	IN, ON
	⑥ 散水が均一に分散していることを確認する。	IN, ON
	⑦ 水槽の水位が運転前及び運転の状態で規定値内にあることを確認する。	IN
7. 冷却水及び補給水の水質	水質管理による。	ON
8. シーズンオフ時の保存	器内の水を確実に抜いたうえ保存する。	OFF
9. シーズンオフ時の保存	本体及び配管の清掃を行う。	IN
10. 複合処理剤	防錆剤は請負者が準備し投入作業を実施する。 持続期間は3か月間とする。	IN

ウ ユニット型空気調和機（冷房 I N，冷房 O N，暖房 I N，暖房 O N 点検時実施）

点検項目	点検内容	周期
1. 基礎・固定部	① 亀裂、沈下等の有無を点検する。	I N
	② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	I N
	③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	I N
2. 外部状況		
a. 本体	① 設置の状況及び劣化・損傷の状況を確認する。	I N
	② 腐食、変形、破損等の有無を点検する。	I N
b. 保温材・吸音材	損傷及び脱落の有無を点検する。	I N
3. 送風機	芯出しの良否を点検する。	I N
a. 羽根車	① 汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	I N
	② 回転バランスの良否を点検する。	I N
b. シャフト	汚れ、さび、磨耗等の有無を点検する。	I N
c. ベルト	緩み、磨耗、損傷等の有無を点検する。	I N, O N
d. プーリー	磨耗等の有無を点検する。	I N
e. 軸受	① 異常音、異常振動等の有無を点検する。	I N, O N
	② 給油の状態を点検する。	I N, O N
f. カップリング	磨耗、損傷等の有無を点検する。	I N
g. 電動機	① 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	I N
	② 回転方向が正しいことを確認する。	I N
	③ 表面温度の異常の有無を点検する。	O N
	④ 電流が定格値内であることを確認する。	I N, O N

点検項目	点検内容	周期
4. 熱交換器	冷温水コイル、蒸気コイル等の汚損、腐食、損傷等の有無を点検する。	IN
5. 加湿器	① 加湿ノズルの詰まりの有無を点検し、清掃する。 ② 作動の良否を点検する。 ③ 汚れ、損傷等の有無を点検する。 ④ 加湿状態点検用ランプが点灯することを確認する。	IN, ON IN, ON ON IN, ON
6. エリミネータ	詰まり、腐食等の有無を点検する。	IN, ON
7. 水系統		
a. 加湿用給水	① 給水止弁の開閉を点検する。 ② 漏れ及び汚れのないことを確認する。	ON ON
b. ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検し、清掃する。	IN, ON
c. ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、詰まりのないことを確認する。	IN, ON
8. エアフィルタ(プレフィルタ)		
a. ろ材	① 詰まり、損傷等の有無を点検する。 ② プレフィルタの清掃を行う。	IN, ON IN, ON
b. 枠	変形、腐食等の有無を点検する。	IN, ON
9. 運転調整	① 運転の状況を確認する。 ② 運転時における電圧変動が規定値以下であることを確認する。 ③ 運転電流が定格かであることを確認する。 ④ インバータ設置の場合は、単体運転にて電圧及び電流値のバランス確認を行う。	IN IN IN IN

エ ポンプ (冷房 I N, 冷房 O F F 点検時実施 (周期 I))

点検項目	点検内容	周期
1. 基礎・固定部	① 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。 ② 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN, OFF IN, OFF
2. 外観状況	① 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。 ② 軸継手ゴムの損傷等の有無を点検する。 ③ ベルトの損傷等の有無を点検する。 ④ 芯出しの良否を点検する。 ⑤ ポンプの吸込圧力及び吐出圧力が許容範囲内にあることを確認する。 ⑥ 軸封の漏水状態を点検する。	IN, OFF IN, OFF IN, OFF IN, OFF IN, OFF IN, OFF
3. 電動機	① 電動機が外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無を点検する。 ② 回転方向が正しいことを確認する。 ③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN, OFF OFF IN, OFF

点検項目	点検内容	周期
	④ 運転電流が定格値以下にあることを確認する。	IN, OFF
4. フート弁及び逆止弁	開閉状態の良否を点検する。	IN, OFF
5. 圧力計、達成計又は真空計	① 腐食及び損傷の有無を点検する。 ② 指示値が適正であることを確認する。	OFF OFF
6. 運転調整	① 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ② 運転電流が定格値以下にあることを確認する。	OFF OFF

オ 水質管理（冷房 I N, 冷房 O N 点検時実施）

点検項目	点検内容	周期
1. 水質管理		
a. シーズンイン作業	ストレーナー、ダートポケット等の水回路の水洗いを1回以上行う。	IN
b. シーズンオン作業	① 水質ガイドライン項目のうち pH 及び電気伝導率について測定を行い、その値が基準値に適合することを確認する。 ② PH又は電気伝導率の測定が基準値に適合しない場合は水質ガイドラインのすべての項目について測定を行い、腐食又はスケール生成の傾向の有無を検査する。 ③ 冷却水接水部に腐食傾向がある場合は、次の措置を講じる。 ・ 冷却水を入れ換える。 ・ 冷却水の塩素イオン濃度を指標として濃度倍数を3倍以下に保持するようにブロー量を調節する。 ・ 適正なインヒビターを使用する。 ④ スケール生成傾向がある場合は、上記によるほか、次の場合には、ブラシ洗浄又は化学洗浄を行う。 ・ 冷媒の凝縮温度と冷却水出口温度の差が大きくなった場合 ・ 冷媒の圧力上昇又は高圧カットが起こった場合 ⑤ 冷却水がバクテリア、藻等に汚染されている場合は上記④による。	ON
2. レジオネラ症防止作業	レジオネラ属菌増殖防止のため冷却塔への薬剤投入 ※薬剤は、請負者準備とする。	ON

(2) 作業計画書

業務責任者は、業務計画書に基づき作業別に、実施日時、作業内容、作業手順、作業範囲、業務責任者、業務担当者、安全管理の内容等を具体的に定めた作業計画書を作成して、作業開始前に官側担当者の承諾を受ける。

(3) 業務の報告等

業務の報告は、業務責任者が作業等の結果を記載した業務報告書を作成し、あらかじめ官側担当者と協議して定めた日に官側担当者に提出することにより行う。

点検、定期点検、臨時点検又は日常点検においては、あらかじめ官側担当者と打合せの上、定められた様式により報告する。

官側担当者が施設等の維持管理又は建物の維持保全計画若しくは長期修繕計画の作成または見直しを行う場合に助言を求めた際、受注者の立場から適切な技術的助言を行う。

施設等に事故や重大な不具合が発生した場合において、迅速かつ有効な再発防止対策につなげるという公益性の観点から官側担当者の求めに応じて報告書の作成助言等、必要な協力を行う。

(4) 別契約の業務等

業務に密接に関連する同一設備に係る別契約の業務が有るため、業務責任者は、官側担当者の監督下において、別契約の業務の業務責任者との調整を図り、円滑に業務を実施すること。

(5) 防災訓練等の立会い

業務実施施設において行われる防災訓練等の行事等への立会いを行い、防火ダンパー及び排煙装置作動に係る空調設備の自動停止に伴う復旧作業を行うこと。

(6) 保守の範囲

ア 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃

イ 取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整

ウ ボルト、ねじ等でゆるみがある場合の増し締め

エ 次に示す消耗品部品の交換又は補充

(ア) 潤滑油、グリス、充填油等

(イ) ランプ類、ヒューズ類

(ウ) パッキン、ガスケット、Ｏリング類

(エ) 清製水

- オ 接触部分、回転部分等への注油
- カ 軽微な損傷がある部分の補修
- キ 塗装（タッチペイント）
- ク 各所ヘッダーにおいて流量測定を行い、測定結果表を提出すること。
- ケ 上記の他、これらに類する軽微な変更
- コ 冷房暖房の各試運転

請負者は点検・切替後、官側担当者立会のもと試運転を実施すること。なお、試運転時には、空調機関連機器（ユニット型空気調和機・加湿機等）のスイッチ及びバルブを、運転シーズンに合わせ切り替える。

切替試運転実施前にOAダクト・RAダクトのレジスターフィルターの清掃を実施すること。

サ その他

保守点検中に発見された異常箇所及び部品交換箇所については、遅滞なく官側担当者へ連絡し、報告書の作成及び機能回復のための修理を目的とした見積書を速やかに提出する。また、簡易な方法により、機器が使用できるように応急処置を講ずるものとする。

(7) 実施時期（保守点検）

現場における作業の日程については、下記を基準とする。細部日程については、官側担当者と協議し決定する。なお、役務報告書類は、履行期限内に提出すること。

- ア 冷房イン点検：5月（1回）
- イ 冷房オン点検：8月（1回）
- ※ 冷却塔のみ7月～9月（3回）
- ウ 冷房オフ点検：10月（1回）
- エ 暖房イン点検：11月（1回）
- ※ 空調機のみ
- オ 暖房オン点検：2月（1回）

6 交換等対象機器

(1) 交換部品等

建物番号 及び名称	対象機器	交換部品等			
		名称	型番	数量	備考
隊舎 (18号)	冷凍機	冷凍機水素抑制 剤投入	投入作業	1 式	真空引き作業含む
			薬剤	1 箱	
	冷却塔	冷却水用除菌剤 投入	投入作業	1 式	
			薬剤見込量300ml	1 式	
	冷温水配管	V ⁸ 弁交換作業	B-98	2 本	
		Yストレーナー清掃	断熱補修含む	3 個	
		防錆剤投入作業	濃度調整含む 薬品見込量防錆剤 (10kg)	1 式 1 箱	
庁舎 (201号)	冷却塔	冷却水用除菌剤 投入	投入作業	1 式	真空引き作業含む
			薬剤見込量500ml	1 箱	
		V ⁸ 弁交換	A-57	2 本	
	冷温水配管	Yストレーナー清掃	断熱補修含む	3 個	
		防錆剤投入作業	濃度調整含む 薬品見込量防錆剤 (10kg)	1 式 1 箱	
WAC隊舎 (235号)	冷凍機	冷凍機水素抑制 剤投入	投入作業	1 式	真空引き作業含む
			薬剤	1 箱	
	冷温水配管	Yストレーナー清掃		9 個	断熱補修含む
		防錆剤投入作業	※薬品見込量 防錆剤 (10kg)	1 式 1 箱	濃度調整含む
庁舎 (248号)	冷温水配管	防錆剤投入作業	※薬品見込量 防錆剤 (10kg)	1 式 2 箱	濃度調整含む
		エア抜き作業	冷房イン・暖房イン時 各1回	1 式	
	冷却塔	V ⁸ 弁交換	B-124	3 本	真空引き作業含む
	AC-1空調ベルト	V ⁸ 弁交換	A-83	2 本	
		V ⁸ 弁交換	A-85	2 本	
		V ⁸ 弁交換	A-90	2 本	
庁舎 (253号)	冷凍機	冷凍機水素抑制 剤投入	投入作業	1 式	真空引き作業含む
			薬剤	1 箱	
	冷温水配管	Yストレーナー清掃		3 個	断熱補修費含む
		防錆剤投入作業	※薬品見込量 防錆剤 (10kg)	1 式 1 箱	濃度調整含む
	冷却塔	V ⁸ 弁交換	B-98	2 本	真空引き作業含む
	AC1空調ベルト	V ⁸ 弁交換	A-59	3 本	
	AC2空調ベルト	V ⁸ 弁交換	A-80	3 本	
庁舎 (266号)	AHU1空調ベルト	V ⁸ 弁交換	A-64	3 本	
	AHU2空調ベルト	V ⁸ 弁交換	A-85	3 本	
	AHU3空調ベルト	V ⁸ 弁交換	A-80	3 本	
隊舎 (348号)	冷温水配管	防錆剤投入作業	※薬品見込量 防錆剤 (10kg)	1 式 2 箱	濃度調整含む
	冷却塔	V ⁸ 弁交換	B-149	3 本	

建物番号 及び名称	対象機器	交換部品等			
		名称	型番	数量	備考
教育施設 (349号)	冷凍機	1・2号機冷凍 機水素抑制剤投入	投入作業	1 式	真空引き作業含む
			薬剤	2 箱	
		Yストレーナー清掃		8 個	遮断補修費含む
	冷温水配管	防錆剤投入作業	※薬品見込量 防錆剤 (10kg)	1 式 1 箱	濃度調整含む
	冷却塔	Vバルブ交換	A-108	2 本	
	AHU-1用	省エネベルト	A-51	2 本	
	AHU-2用		A-51	2 本	
	AHU-3用		A-52	2 本	
	AHU-4用		A-52	2 本	
	AHU-5用		B-59	2 本	
食堂・厨房 (373号)	冷温水配管	防錆剤投入作業	※薬品見込量 防錆剤 (10kg)	1 式 2 箱	濃度調整含む
	冷却塔	Vバルブ交換	B-134	3 本	
	AC-1-(1) 用	省エネベルト	B-97	3 本	
	AC-1-(2) 用		B-97	3 本	
	AC-2用		B-68	3 本	
	AC-3-(1) 用		C-119	3 本	
	AC-3-(2) 用		C-119	3 本	
	AC-4用		A-77	2 本	
	AC-5用		A-79	3 本	
	FE-1-(1) 用		5V1400	3 本	
	FE-1-(2) 用		5V1400	3 本	
	FE-2用		B-94	3 本	
	FE-3用		B-92	3 本	
	FE-4用		B-82	3 本	
	FE-5用		B-76	3 本	
	ユニット型空調機AC-1-1	プレフィルター交換	300×500×20 t	1 枚	
			500×500×20 t	5 枚	
			300×800×20 t	1 枚	
			500×800×20 t	5 枚	
	ユニット型空調機AC-1-2	プレフィルター交換	300×500×20 t	1 枚	
			500×500×20 t	5 枚	
			300×800×20 t	1 枚	
			500×800×20 t	5 枚	
	ユニット型空調機AC-2	プレフィルター交換	300×800×20 t	1 枚	
			500×800×20 t	2 枚	
	ユニット型空調機AC-3-1	プレフィルター交換	500×600×20 t	14 枚	
			500×800×20 t	7 枚	
	ユニット型空調機AC-3-2	プレフィルター交換	500×600×20 t	14 枚	
			500×800×20 t	7 枚	

建物番号 及び名称	対象機器	交換部品等			
		名称	型番	数量	備考
食堂・厨房 (373号)	ユニット型空調機AC-4	プレフィルター交換	300×500×20 t	4 枚	
			500×500×20 t	4 枚	
	ユニット型空調機AC-5	プレフィルター交換	300×500×20 t	6 枚	
			500×500×20 t	2 枚	
庁隊舎 (374号)	冷凍機	冷凍機水素抑制 剤投入	投入作業	1 式	真空引き作業含む
			薬剤	1 箱	
	冷温水配管	防錆剤投入作業	※薬品見込量 防錆剤 (10kg)	1 式 1 箱	濃度調整含む
庁舎 (377号)	冷温水配管	防錆剤投入作業	※薬品見込量 防錆剤 (10kg)	1 式 2 箱	濃度調整含む
	冷却塔	Vバルト	B-123	3 本	
	AHU-1用	省エネベルト	A-69	3 本	
	AHU-2用		A-66	3 本	
	AHU-3用		B-78	3 本	
	FE-1用		B-90	3 本	
	FS-1用		B-98	3 本	
	吸収式冷凍機側冷暖切替及び 調整	端末操作作業	川重冷熱工業 ΣTBS-150DN5C	1 式	中央監視装置タッチ パネル代替
庁舎 (395号)	冷温水配管	防錆剤投入作業	※薬品見込量 防錆剤 (10kg)	1 式 2 箱	濃度調整含む。
	冷却塔	Vバルト交換	B-96	2 本	
	AHU-1用	省エネベルト	A-56	2 本	
	AHU-2用		B-72	3 本	
	AHU-3用		B-72	3 本	
	RF-1用		A-46	2 本	
	RF-2用		B-70	3 本	
	RF-3用		B-72	3 本	
#248・377 共通	冷温水器（冷暖切替）	伝熱チューブ等清掃	凝縮器パッキン	4 枚	周辺機器養生 製造所立会
			蒸発器パッキン	4 枚	
			ゴムリング（カップリング継手用）	4 個	
			配管及び水質ヘッダー取外復旧作 業	4 回	
			チューブ（伝熱管）洗浄作業	4 回	
			試運転調整	4 回	

(2) 実施要領

- ア 上記の機器修理等にあたり、事前に現地の状況を確認してから作業を行うこと。また、修理後は試運転を行い、異常の無いことを確認すること。
- イ 実施時期は、原則として、冷房イン点検時に行うこと。
- ウ 配管の収まり等の細部については、官側担当者との協議による。
- エ 隊舎（248号）冷温水管系統のエア抜きは、建物R階のハト小屋において、自動エア抜き弁の排水口より冷温水の給水を実施し、冷温水管内のエアが完全になくなるまで行うものとする。細部実施要領については、官側担当者との協議による。

7 提出書類

- (1) 提出書類は、別表「提出書類一覧表」のとおりとし、下記の項目について注意し提出すること。
 - ア 発生材調書

産業廃棄物については、請負者側にて関係法令に基づき適切に場外処分をするものとする。なお、鉄くず等有価物は、「発生材調書」を添えて官側担当者の指示する箇所に搬入すること。
 - イ 点検結果報告書（各空調機毎） 1部

※ 各点検項目のうち測定値により良否を判断する項目については、基準値及び測定値のデータを添付する。
 - ウ 役務写真（施工前、施工中、施工後、使用材料等）
- (2) (1)のイ、ウについては、各保守点検実施後ごと、1ヶ月以内に官側に提出すること。
- (3) 全ての提出書類は電子データにより提出すること。なお、様式及びファイル形式並びに電子データ送付先は官側担当者の指示による。

8 疑義

本役務に関する疑義は、官側担当者へ報告し契約担当官の指示に従うこと。

9 管理事項

本役務を実施するにあたり、以下のことについて管理するものとする。

- (1) 役務上知り得た情報は、第三者へ他言しない。
- (2) 写真等は、必要部数以上に増刷しない。また、必要箇所以外は撮影しない。
- (3) 立入許可申請が必要な建物は、官側担当者から別示する。

10 検査

検査は、保守点検整備完了後の状態及び機能について実施する。

提出書類一覧表

書類名	部数	様式	あて先名	提出期日（厳守）	備考
役 務 開 始 届	1 部	別示	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	受注後速やかに	
現場代理人指名通知書	1 部	別示	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	受注後速やかに	略歴書、必要資格等 の写しの添付（必 須）
下請負者設置等通知書	1 部	別示	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	受注後速やかに	
役務工程表（計画・実 施）	1 部	任意	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	受注後速やかに	実施工程表は、竣工 検査時提出。
業 務 計 画 書	1 部	任意	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	官側の指示による	
業 務 計 画 書	1 部	任意	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	官側の指示による	
役 務 日 報	1 部	別示	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	翌日の午前中	
材 料 検 査 願	1 部	別示	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	材料搬入時	日付毎提出
役 務 打 合 簿	1 部	別示	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	官側の指示による	
役 務 内 訳 書	2 部	別示	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	発注後 7 日以内	
役 務 完 了 届	1 部	別示	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	作業終了後速やかに	
発 生 材 調 書	1 部	別示	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	作業終了後速やかに	鉄くず等有価物
役 務 写 真	1 部	任意	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	作業終了後速やかに	デジカメの使用可
点 検 報 告 書	1 部	任意	陸上自衛隊仙台駐屯地 業務隊管理科営繕班長	作業終了後速やかに	試運転及び総合調整 結果
そ の 他				官側の指示による	
なお、いずれの書類も提出期日厳守とする。また、本役務は、現場終了後、各種書類の提出報告をもって完了とするので提出期日は確実に厳守すること。					

※提出書類の細部については、仙台駐屯地業務隊管理科営繕班（内線3312）まで問合わせ願います。